

緑の風 FAX版



NO. 52 2021年11月1日 JR東労組

JR東労組ホームページ

8月の小田急線切りつけ事件に続き
京王線刺傷放火事件発生！

**安全第一の行動を！
鉄道の安全対策を議論しよう！**

「逃げろ」乗客パニック！

10月31日20時頃、東京都内を走る京王線の電車内で、乗客が切りつけられるなどして17人が重軽傷を負った事件が発生発生した。電車は国領駅ホームで停止したが、停止位置がずれたため電車のドアやホームドアは開かず、乗客は窓から避難した。

国土交通省や京王電鉄によると、電車が調布駅を出発した後、乗客が車内の非常通報装置で通報。運転士は本来停車しない国領駅で止まるため低速走行を始めたが、乗客が、手動でドアを開けられるようにするドアコックを操作。さらに減速して停車位置から2、3メートルずれて止まったため、いずれのドアも開かなかった。手動操作もできるが、駅係員は乗客らが転落する恐れがあるとして見送ったという。

車両には防犯カメラはなく、男が刃物を持っていることがわかったのは停車後だった。運転士は運転室内にあった盾を持って現場に向かい、車掌は警察官を車内に誘導した。

今回の事件を受け、国交省は1日、全国の鉄道会社に対し、安全確保の徹底を求める通知を出した。駅構内などの巡回や、警備員らが電車に添乗して警戒を行うことなど警戒監視体制の徹底を求めている。

今後起こりうる事件にどのように備えるべきか？

容疑者は、8月に発生した小田急線の事件を参考にしたと述べており、今後私たちの電車内、また駅構内でも発生しうる事象です。

痛ましい事件を教訓に、そして「安全」と「命」を価値基軸に、私たちはどのように対応し、どのように備えるべきか、また会社に対してどのように安全対策を求めるのか、職場から鉄道の安全を現場視点から議論を深めていきましょう！

「安全なくして労働なし！」 鉄道の安全を職場から創り出そう！